

Sonica Instruments SHO Virtuoso Japanese Series User's Manual

この度は Sonica Instruments Virtuoso Japanese Series SHO を お買い上げいただき、まことにありがとうございます。 本物の日本の音を追求するこの製品を是非お楽しみください。

Sonica Instruments Team



はじめに

笙とは

日本の雅楽で使用される重要な3種類の管楽器のひとつで、全長は40~50cm。17本の竹管を持っています。鳳凰が翼を立てたよう なその姿から鳳笙(ほうしょう)とも呼ばれ、その音色は天上から降り注ぐ光と表されており、飛鳥時代から形も音色もほとんど変わ ることなく、現在に至るまで雅楽の中心的な役割を持つ管楽器の一つです。17本の内、15本の竹の根元に簧(した注:リード)があり、 それぞれの管に開けられた指穴を押さえながら、吹き口より息を吹いたり吸ったりすることで簧が振動し、音となります。また、吸っ ても吹いても同じ音程が鳴るため、途切れることなく音を鳴らし続けることができ、演奏の特徴となっています。

歌の伴奏などに「一竹 (いっちく)」と呼ばれる単音での吹奏がなされ、合奏には「合竹 (あいたけ)」と呼ばれる和音を奏して、包み 込むような美しい音色で空間を創り出します。

Virtuoso Japanese Series

SHO について

この製品は笙のリアルな再現を目標に開発されました。

笙の演奏は石川高 (いしかわ・こう) 氏。繊細かつ美しいロングトーンから荒ぶる音まで変幻自在の竹の音。熟練した演奏を惜しみな く提供していただきました。さらに妥協のないレコーディング、Kontakt プログラミングによって、まさに天上から降り注ぐ光とさ れる笙の音色に最も近いソフトウェア音源として完成しました。ぜひ SHO をたくさんの音楽の中でお使いください。

そしてなにより私達は本物の邦楽器と演奏者をリスペクトしています。この製品をお使いになっていただくことが、皆様が本物の笙の 魅力を知るきっかけになれば幸いです。

製品の特長

高精細な 24bit、96kHz のマルチマイク収録

レコーディングは 10 本以上の様々なマイクと色付けのないマイクアンプを使用、高精細な 24bit、96kHz レコーディングされました (製品では 24bit、44.1kHz で収録)。

製品では DirectMic、OverheadMic、RoomMic、StereoMix の使いやすい 4 種類のマイキングでミキシングが可能です。

笙特有の演奏表現をリアルに再現する、専用発音メカニズムとインターフェースを開発

合竹(あいたけ)と一竹(いっちく)での演奏を実現

複数の管を同時に鳴らす 11 種類の和音 (合竹)"Chord Tone" と、1 本の管を鳴らす単音 (一竹)"Single Tone" を収録。独立して演 奏可能です。もちろんアーティキュレーション・コントロールも独立して行うことが可能です。

パイプインジケーター

複雑な竹管の配列と発音状態をモニター可能なパイプインジケーターを装備。管の音名が古典音名でわかりやすく表示され、 Chord(合竹)演奏時には11種の和音名も表示されます。

また、後述のスケールチューニング・ボックスと連動して動作するため、各竹管の音を鍵盤の音程でモニタリングでき、とても便利です。。

古典奏法を可能にするキーモード

クロマチック・キー配列のほか、笙と同じ指使いで演奏可能なキー配列 trad.fingering を用意。このキーモードでは白鍵を竹管に見 立てています。両手の指を白鍵に置き、まるで竹管の穴を塞ぐように演奏します。笙の演奏家の方にも非常に使いやすいばかりでなく、 楽器の理解・学習にも役立ちます。

スケールチューニング機能

笙の演奏可能音域について、全クロマチックピッチを個別にチューニングできます。雅楽で使われるピタゴラス律や、楽器個体のオリ ジナルピッチ、平均律の他、オリジナルなチューニングを作成して演奏することができます。 設定した値はもちろん保存して使うことが可能です。



演奏が途切れることなく奏法の変化が可能なキートリガーコネクション

延々と続く持続音が特徴の笙ですが、息遣いによって多彩なアーティキュレーションを表現可能です。そしてそのほとんどが音が持続 させながら自然に繋がって変化していきます。

このような挙動を再現するキートリガーコネクションを装備。演奏中にキースイッチを入れることで任意のアーティキュレーションへ と自然に変化させることが可能です。



音が途切れることなく、アーティキュレーションが滑らかに接続します。

無段階に音色の強弱を表現するエクスプレッション

息の強さとベロシティで吹き音のコントロールが可能です。

サンプルベースでありながらも、滑らかでダイナミックな息づかいを表現することができるため、さながらウィンドコントローラーの ような感覚で鍵盤演奏が可能です。

音の立ち上がりをコントロールするブロウスピード

エクスプレッションに加え、息のスピードによる音の立ち上がりスピードに汎用コントローラーでコントロールでき、もたつきのない 演奏が可能です。

ポリフォニックレガート奏法

演奏中に音を積み重ねたり、ある音だけを違う音程に移動させるようなど、単音でも和音でも可能なポリフォニック・レガート奏法が 可能です。笙ならではの奏法といえるでしょう。SustainPedal で瞬時に ON/OFF が可能です。

笙ならではのアーティキュレーションを豊富に収録

ストレート (吹き音 / 吸い音)、フラッター (吹き音 / 吸い音)、スフォルツァンド、クレッシェンド、トレモロスロー (吹き音 / 吸い音)、トレモロファースト (吹き音 / 吸い音) など、あらゆるアーティキュレーションを ChordTone(合竹) と SingleTone(一竹) で収録しており、MIDI 鍵盤上で表現力豊かなリアルタイム演奏が可能です。

もちろんすべてのアーティキュレーションがキートリガーコネクションで接続可能です。

3人まで増やせる、アンサンブル機能

雅楽の管絃では楽器ごとに複数の奏者が配置され、厚みのあるユニゾン演奏を行います。ソロ、2 人、3 人のモードを選択でき、各奏 者の演奏のずれ具合、配置の広がりをコントロール可能です。

NKS に対応

NKS に対応し、Kontakt Player/Kontakt (ver.5.7.3 以上) /KOMPLETE KONTROL 上で使用することができます。KOMPLETE KONTROL キーボードなど NKS 対応ハードウェアとの連携時には、音色を素早くプレビューしたり、ハードウェアのノブやコントロー ラーをフル活用することができます。





製品仕様

Native Instruments KONTAKT 5.7.3 以上 KONTAKT PLAYER 対応 NKS 対応

動作環境

MacOSX 10.10 以降 Windows 7,8,10 Intel Core2 Duo または AMD Athlon64 X2 Mac、Windows ともに 4GB RAM(16 GB 推奨)

データ容量: NCW 約 2.38 GB 相当 (WAV 約 3.15 GB 相当)

- ・このライブラリーをお使いになるためには、Native Instruments KONTAKT 又は KONTAKT PLAYER 5.7.3 以上が必要になります。
- ・製品のインストールには 2.38 GB 以上のディスク空き容量が必要です。
- ・PC 環境、動作環境は Native Instruments KONTAKT 及び KONTAKT PLAYER の推奨動作環境に準じます。
- ・ライブラリーを快適に動作させるためには、より高速な CPU と、余裕のある RAM メモリーを搭載したコンピュータに製品をイン ストールすることをお奨めします。

※ご使用時にインターネットを経由したユーザー登録が必要になります。

必要な MIDI コントローラー

いくつかのコントローラーを用意することで、より SHO の機能を最大限に生かし、リアルな演奏を再現出来ます (CC:コントロールチェンジ)。

Sustain Pedal CC#64

演奏中に音を積み重ねたり、ある音だけを違う音程に移動させるような、単音でも和音でも可能 なポリフォニック・レガートの ON/ OFF や、発音中にアーティキュレーションを変化させるキートリガー・コネクションの ON/OFF をコントロールすることができます。

Modulation Wheel CC#1

Blow Expression: 息の強さで音量と音色をコントロールします。

Quick Reference to SHO (PDF) を利用すると便利です。

笙には特有の演奏方法、音名、和音名があるため、それらを古典和名とともに簡単にまとめた同 PDF を見ながら作業することをお薦 めします。



製品をお使いいただくにあたって

本製品をお使い頂くには NATIVE ACCESS アプリケーションで「**シリアルコードの登録**」と「**ライブラリデータのダウンロード**」を 行う必要があります。なおインストール作業の詳細な操作や最新の情報は <u>Sonicalnstruments のウェブサイト</u>でご確認ください。

1.NATIVE ACCESS のインストール

※ NATIVE ACCESS をすでにお使いの方は、この操作は不要です。

Native Instruments 社の WEB サイト(https://www.native-instruments.com/jp/specials/native-access/)よりお使いのパソコ ン OS に合わせた「NATIVE ACCESS インストーラー」をダウンロードし、以下の手順でインストールを行ってください。



EVERYTHING IN ONE PLACE

- ▶ 最も簡単な方法で、全ての音楽制作ツー ルを使用可能な状態にします。
- ソフトウェアのダウンロード、インスト ール、アクティベート、アップデートを 総合的行うことができます。

・製品管理が統合化され、音楽制作により 集中することができます。

Add a settal	Total > Automotive			
from .	AVAILABLE UPDATES			AUPONTEALL
which updates	Kampiele Kantral	0.048		ASPRE
utalied products	No.14	153	42.948	AWNER
	AC II	100	(11.00)	Assess
	Superhaps (7	10.0	1198	A UPDATE
	Nati Comp	369	1.8946	A SPORTE
	ALC: NO IN THE	133	7438	A UPDATE
	NC THERE	188	14.62	AUPORT

<u>2.NATIVE ID でログイン</u>

インストールした NATIVE ACCESS を起動してログインします。

NATIVE INSTRUMENTS のアカウントをお持ちでない場合、画面内の「Createa Nativel nstruments account」をクリックし、ア カウント作成画面を開き、必要事項を入力してアカウントを作成(無料)してください。





<u>3. シリアルコードの登録</u>

NATIVE ACCESS を起動し、画面左上にある「**Add a serial**」ボタンをクリックして表示されるウィンドウの赤枠内に、製品購入時 に発行されたシリアルコードを入力します(シリアルコードは、購入時にEメールでお送りしています)。

🗯 Native Access		
NATIVE ACCESS	Search Products Q	
⊕ Add a serial 🛛 ←	> Not Installed	0701.0.1
Software	NOT INSTALLED	
Not installed 13		ADD A SERIAL
Available updates		If your purchase came with a senial number, enter it here to receive the associated products and product updates.
Installed products	AP Akoustik Piano	00000 - 00000 - 00000 - 00000 - 00000
	EP Elektrik Piano	By registering new products, you agree with the LLLA and senses and conditions. Cancel O AZO SERVAL

ADD SERIAL ボタンをクリックすると、製品のシリアルコードが登録されます。画面内に表示される「**VIEW PRODUCTS NOT INSTALLED**」ボタンをクリックし、インストール画面を開いてください。



Not Installed リストに登録した製品が追加されます。インストールしたい製品名の右側にある「**Install**」ボタンをクリックすると、 ダウンロードとインストールが開始されます。

ATIVE ACCESS	Search Products O		a . m
ATTVE ACCESS			
Add a serial	> Not Installed		
Software			
Not installed	NOT INSTALLED		
Available updates	1 🗰 🔳		
installed products	1 17 Koto 17	1.0.0	C INSTALL
	Koto 20	1.0.0	□ INSTALL
	-		

以上でライブラリのインストールは完了です。

ダウンロードの完了後に KONTAKT/KONTAKT PLAYER を起動すると、画面左側の Libraries タブに自動的に製品が追加されます。 同様に、KOMPLETE KONTROL でも使用することができます。





製品の基本概念

SHO は KONTAKT および KONTAKT Player、KOMPLETE KONTROL ソフトウェアで使用することができます。

KONTAKT および KONTAKT Player で使用する場合

アクティベーションが完了すると、KONTAKT の LibraryBrowser に SHO のライブラリパネルが追加されます。音色を読み込ん でお使いください。



<u>KOMPLETE KONTROL で使用する場合</u>

本製品は NKS に対応しているため、KOMPLETE KONTROL や KOMPLETE KONTROL キーボードと連携し、音色をプレビュー したり、設定をプリセットとして保存する事も可能です。KOMPLETE KONTROL キーボードのノブコントローラーやブラウザ機能 と共に、快適にお使いいただけます。

詳しくは <u>P.18「KOMPLETE シリーズのコントローラーパラメータ」</u>をご覧ください。





articulation のモニター表示



ウィンドウ上部にあるこの2つの表示は mix ページ・play ページ・tune ページ・memory ページ全てで常に表示され、key switch で選択されている内容が常にモニターできるようになっています。

chord

合竹 (chord tone) 用 key switch で選択されたアーティキュレーション (奏法) 名が表示されます。key switch は KONTAKT のキー ボードで確認できます。

single tone

ー竹 (single tone) 用 key switch で選択されたアーティキュレーション (奏法) 名が表示されます。key switch は KONTAKT のキー ボードで確認できます。



articulation

key switch で選択されたアーティキュレーション (奏法) 名が表示されます。key switch は KONTAKT のキーボードで確認 できます。 いくつかのアーティキュレーションにはバリエーションがあり、クリックして選ぶことができる他、キースイッチ F1 および CC#11 で切り替えることができます。

for 合竹 (chord tone)

KeySwitch	ArticulationName	奏法名	Key Trigger Connection
CO	Straight Out	ロングトーン (吹き音)	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
C#0	Straight In	ロングトーン (吸い音)	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
D0	Flutter Out	フラッタートーン (吹き音)	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
D#0	Flutter In	フラッタートーン (吸い音)	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
EO	Sforzando	スフォルツァンド	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
FO	Tremolo Slow	トレモロスロー	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
F#O	Tremolo Fast	トレモロファスト	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
GO	Crescendo Out	クレッシェンド (吹き音)	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
G#0	Crescendo In	クレッシェンド (吸い音)	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能

for 一竹 (single tone)

KeySwitch	ArticulationName	奏法名	Key Trigger Connection
C1	Straight Out	ロングトーン (吹き音)	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
C#1	Straight In	ロングトーン (吸い音)	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
D1	Flutter Out	フラッタートーン (吹き音)	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
D#1	Flutter In	フラッタートーン (吸い音)	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
El	Sforzando	スフォルツァンド	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
Fl	Slide-Up	スライドアップ	○サスティンペダル (CC#64) で ON/OFF をコントロール設定可能
A#1	Legato on / off	-	-

・Chord Tone、Single Tone は同時に発音、独立したキースイッチでアーティキュレーションを選択可能です。

・すべてのアーティキュレーションがキートリガーコネクションで接続可能です。



MIDI キーボードのレイアウト

CO~F1:アーティキュレーション Key Switch Zone

C0~G#0: 合竹用アーティキュレーション Key Switch Zone

C1~F1:一竹用アーティキュレーション Key Switch Zone

- A#1: Legato の on/off 切り替え
- C2~F3:合竹演奏用 Chord Tone Zone

G3 ~ C6: 一竹演奏用 Single Tone Zone (key mode 及び articulation により変化します)

Key mode : chromatic 選択時



Key mode : trad. fingering 選択時





mix

このページでは基本的な音作りを行います。



Audio Mixer

Direct、OH(OverHead)、Room3 種類のステレオマイクポジションとマルチマイク音源をあらかじめバランスよくミックスされ た StereoMix をミキシングできます。マルチマイクのチャンネルが ON の時は "Stereo" は Off になり、逆に "Stereo" が On の時は マルチマイク・チャンネルは Off になります。

vol: 各チャンネルの音量をコントロールします。 width: ステレオマイキングの広がりを調整します。100% でオリジナルの広がりに、0% でモノラルになります。 pan: 各チャンネルの panpot を調整します。 rev: 各チャンネルのコンボリューション・リバーブへのセンド量を調整します。 out: 各チャンネルのオーディオ出力先を選択します。お使いの DAW ヘマルチ・チャンネルの状態で取り込む時に便利です。

-12.0 dB	-12.0 dB
Default 💌 🚬	Default 🐨
E T	Default
	sr1
()	st.2
10	st.3
	st.4
-	st.5
Contraction of the second	st.6
	st.7
y tu	st.8

○各マイクのサウンドを、マルチアウトする

アウトプットを作成した後(※)、KONTAKT のインターフェース右上の「!」ボタンをクリックすると、 SHO の out メニューに作成したアウトプットが反映されます。

※アウトプットの作り方は、KONTAKT のマニュアルをご覧ください。





EQ: 各チャンネルに搭載された 4bandEqualizer を調整します。左ボタン [E] をクリックすると Equalizer ウィンドウがポップアップ されます。右のボタンで Equalizer の ON/OFF を行います。



Reverb

能楽堂の IR(インパルスレスポンス)2 種を含む全 30 種類のコンボリューションリバーブを選択できます。



MIDI CC# Learning 機能

すべてのコントロールノブは MIDICC(ControlChange)で個別にコントロールできます。



Learn MIDI CC# の設定方法

1. コントロールノブを右クリックし "Learn MIDI CC# Automation" を表示す る 2. コントロールに使いたい MIDI コントローラーの操作子を動かす

2. コントロールに使いたい MIDI コントローラーの操作子を 3. 設定完了

MIDI CC# Automation のリムーブ 設定を削除するには、該当のコントロールノブを右クリックし "Remove MIDI Automation CC#xx" を選択してください。





play

このページでは笙の演奏コントロールと音色のニュアンスを設定します。



Ensemble

ソロ、2人、3人のモードを選択でき、各奏者のずれ具合、配置の広がりをコントロールします。



Ensemble





Velocity Control

Performers: ソロ、2人、3人を選択出来ます。

spread:2人、3人モード時の配置の広がりの調整

balance: 2人目、3人目の演奏音のミックスバランスを調整

ベロシティに対するサウンド変化をコントロールします。

•curve type : Velocity カーブを「Linear」「S-Curve」「Compound」「Fixed」「User」 から選択します。

- ・curve:選択したカーブに変化をつけます。
- ・min: 発音する Velocity の最小値を設定します。
- ・max: 発音する Velocity の最大値を設定します。



Key Trigger Connection



延々と続く持続音が特徴の笙ですが、息遣いによって多彩なアーティキュレーションを表現することができます。そしてそのほとん どが音が持続させながら自然に繋がって変化していきます。このような挙動を KeyTriggerConnection で再現することが可能です。 KeyTriggerConnection は、従来のキースイッチでの表現を遥かに凌ぐ、ごく滑らかなアーティキュレーションコントロールを可能 にします。

この動作は鍵盤を押している間、任意のアーティキュレーションへ何回でも自然に接続することが出来ます。

またこの機能の ON-OFF はサスティンペダル (CC#64) に割り当てる事が可能です。KeyTriggerConnection を使いたい時に瞬時に アクティブにすることができ、エモーショナルな演奏表現に役立ちます。



音が途切れることなく、アーティキュレーションが滑らかに接続します。

Velocity Source

Key Trigger Connection によって接続されたアーティキュレーションのベロシティのソースを選択します。

1st Note:最初のキーオン時のヴェロシティを受け継いで次のアーティキュレーションへ接続します。

Key Trigger : 接続するアーティキュレーションを Key Trigger のベロシティで発音します。接続時のニュアンスを付けるのに適しています。





Sustain Pedal Control

サスティンペダル (CC#64) に割り当てる動作を選択します。

Expression

Legato:シングルトーン演奏時、管から管へ移動する際と、管を加えて音を増やす際のレガート接続を割り当てます。 複数の竹管を持つ笙特有の発音挙動を再現します。

Key Trigger : サスティンペダル (CC#64) に Key Trigger Connection の ON - OFF を割り当てます。



Pitch Bend ピッチベンドの幅をアップ・ダウン個別に調整出来ます。



Blow Speed 息のスピードによる音の立ち上がりスピードを調整出来ます。



blow:息の強さ。音量コントロール + 倍音コントロールを行います。 製品出荷時には Mod. Wheel (CC#1) がアサインされています。

sense: blow による expression の効き具合を調整します。

息の強さによる吹き音の調整が出来ます。



Tune

クピッチを個別にチューニングすることが出来ます。また、古典の演奏を忠実に再現するキーモードの選択が可能です。
articulation chord : Straight Out

 Pipes
 Scale Tuning

0 0

0

0

このページでは、竹管の配列と発音状態をモニター可能なパイプ・インジケーターの表示と、笙の演奏可能音域について、全クロマチッ





パイプ・インジケーター

複雑な竹管の配列と発音状態をモニター可能なパイプ・インジ ケーターを装備。管の音名が古典音名でわかりやすく表示され、 Chord(合竹)演奏時には11種の和音名も表示されます。また、 後述のスケールチューニング・ボックスと連動して動作するた め、各竹管の音を鍵盤の音程でモニタリングでき、とても便利 です。

パイプインジケーターの音名が書かれた竹菅をクリックすると 対応するスケールチューニングのスロットが点灯します。 Chord 名 (合竹名) が表示されます。

Reset

雅楽で用いられる笙の 430Hz ピタゴラス音律を始め、440Hz 平均律、440Hz ピタゴラス音律にセットすることができ、そ れをベースに 1 鍵ごとにファインチューニングが可能です。 リセットすると、選択中の Scale Slot にリセットデータが上 書きされます。

A=440Hz, 12 Equal temp.: 440Hz 平均律 A=440Hz, Pythagorean: 440Hz ピタゴラス音律 A=430Hz, Pythagorean: 430Hz ピタゴラス音律

Chord Tuning

合竹 (Chord Tone) の基本ピッチを設定します。 A=430Hz A=440Hz

Scale Tuning

笙の演奏可能音域について、全クロマチックピッチを個別にチュー ニングできます。黄色いボックスは竹管のオリジナル音程です。雅 楽で使われるピタゴラス音律や、平均律に簡単に設定できるほか、 カスタム・チューニングを作成して演奏することができます。設定 した値はもちろん保存して使うことが可能です。

Key Mode

クロマチックの他、笙と同じ指使いで演奏可能なフィンガリング配 列が選べます。

- chromatic:: 一般的なクロマチックスケール。シングルトーン 15 音以外の音程も演奏出来ます。
- trad.fingering: 白鍵のみにシングルトーン 15 音を配列。右手左 手で押さえる管を順番に配列してあります。

Scale Slot

作成したスケールは、SlotA,B,C3 つのスロットに Save/Load す ることが出来ます。



memory

このページでは、全アーティキュレーションと全フレーズバンクについて、サンプルの読み込みを個別に設定することができます。リ ストの Load ボタンをオフ(消灯)させることで、そのアーティキュレーションが無効になりメモリーサイズが軽減されます。

下段には MIDI コントロールチェンジナンバー、サスティンペダルの役割を表示してあります。

ar	ticulation chord :	Straight (Dut	single tone : Straight Out
Level Chord		Lood SINGLE TONE		
😑 C0	Straight Out	C 1	Straight Out	
📕 C#0	Straight In	📕 C#1	Straight In	
= D0	Flutter Out		Flutter Out	
🗖 D#0	Flutter In	📕 D#1	Flutter In	
😑 E0	Sforzando	📕 E1	Sforzando	A BUR
F 0	Tremolo Slow	📕 F1	Slide-Up	YING A
🖬 F#0	Tremolo Fast			12 CA
🗖 G0	Crescendo Out		1	
G #0	Crescendo In			
Mod	Wheel (CC#1) — Blow	Expression	Sustain Pedal 🗕	Legato On
			The second secon	Key Trigger Connection On
S e				S H O VIRTU S O JAPANESE ERIES
m	nix play	tu	ne mem	NY C



KONTROL シリーズのコントローラーパラメーター

KOMPLETEKONTROL や KONTROLS シリーズ (MIDI キーボード) では、より直感的にコントローラーパラメーターを調整可能です (各パラメーターについては、前述の項目をご参照ください)。

KOMPLETEKONTROL ではコントロールボタンをクリックすると、パラメーターが表示されます。



Inst Editor

Instrument Editor のパラメーターをコントロールします。



Mixer Mic/Vol

Audio Mixer のパラメーターをコントロールします。使用するマイクチャンネルの選択と、チャンネルの 音量を調整します。



Mixer Width/Pan

Audio Mixer のパラメーターをコントロールします。各チャンネルの Width と Pan を調整します。



Reverb

各チャンネルからリバーブへのセンド量と、Reverb のパラメーターコントロールします。



Direct EQ

Direct チャンネルの EQ パラメーターをコントロールします。



OH EQ

OH チャンネルの EQ パラメーターをコントロールします。





Room EQ

Room チャンネルの EQ パラメーターをコントロールします。



Stereo EQ

Room チャンネルの EQ パラメーターをコントロールします。









Credits

Production, Recording, Editing and Kontakt Development: Sonica Instruments SHO Played by Ko Ishikawa GUI Designer: Yujin Ono

Executive Producer: Tomohiro Harada Kontakt Programming: Rataro. M (Think Master Inc.) Marketing, Translation & Production Consulting: Craig Leonard

Photography: Takashi Matsuda Music Video: Yoshitaka Koyama User's Manual: Yoshifumi Yamaguchi (Stylus Inc.)

Copyright © 2021 Sonica Inc. All rights reserved. Sonica Instruments https://sonica.jp/instruments/



この書類に記載の情報の著作権は株式会社ソニカ (Sonicalnc.) に帰属します。 複製、公衆送信、改変、切除、ウェブサイトへの転載等の行為は著作権法により禁止されています。 また、この書類の情報は、予告なく変更または削除する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

All copyrights and various intellectual property rights associated with the information contained in this document are owned and controlled by Sonica Inc. Copyrights and various intellectual property rights laws expressly prohibit the reproduction, public distribution, alteration, revision, or publication of this document on any other Web site or in other medium.

The information contained in this document is subject to change or deletion without prior notice.

